

目 次

先端的都市研究シリーズの刊行に寄せて
はじめに

第1章 解放と包摂の理論 箱田 徹 ——正常性批判から新たな社会の構想へ

- 1 セクシュアリティにかんする社会構築主義 1
- 2 「ノーマル」な社会を問う正常化批判 4
- 3 新たな生の様式と社会の構想へ 6

第2章 性について考え、語るうえで大切なこと あかたちかこ ——「男女」と「色恋」の現在

- 1 はじめに／はじめまして 9
- 2 「性の話」は「人間の話」 10
- 3 性別はふたつか 12
- 4 少数派？／多数派？ 14
- 5 おわりに／自分のためにはじめよう 16

第3章 「同性婚」のいま——国際法からみる日本の現状 谷口 洋幸

- 1 世界人権宣言とLGBT／SOGI 18
- 2 世界の「同性婚」事情 19
- 3 「同性婚」への道のり 21
- 4 日本の現状を考える 23

第4章 日本におけるLGBTの権利擁護運動とアート ブブ・ド・ラ・マドレーヌ
——dumb type『S/N』をきっかけに

1 「ヘテロ女性」としての経験から	26
2 パフォーマンス『S/N』が告発したこと	28
3 ひとりの人間のカミングアウトがもたらしたもの	31
4 路上での出会いと別れ——そして再会	34

第5章 エイズ・アクティヴィズムから結婚の平等運動へ 藤田 淳志
——アメリカ演劇を通して

1 『真夜中のパーティー』とゲイ・リベレーション	37
2 『ノーマル・ハート』とエイズ・アクティヴィズム	38
3 『エンジェルズ・イン・アメリカ』とクィア・ポリティクス	39
4 『ララミー・プロジェクト』とヘイトクライム	40
5 『ネクスト・フォール』とアメリカの二極化	40
6 『コック』と現代LGBTのアイデンティティ	41
7 『サム・メン』, 『母と息子たち』と結婚の平等運動	43
8 エイズ・アクティヴィズムから結婚の平等運動へ	45

第6章 LGBTとネオリベラリズム 山田 創平
——同性婚は「特権」か、それとも公平な社会の実現か

1 はじめに	49
2 可視化するLGBT	51
3 アメリカにおけるLGBTの権利獲得運動, その歴史	53
4 LGBTの権利運動とネオリベラリズム	55
5 おわりに, 新しい連帯のかたちとこれからの社会	58